

報道機関各位

最新鋭の SEP 船が初入港
大型風車の設置が可能に！



洋上ウインドファーム用大型作業船を マスコミ向けに公開します！



この度、1,600t 吊クレーンを搭載した最新鋭の SEP(Self-Elevating-Platform) 型多目的起重機船「CP-16001」が北九州港（響灘）に初入港することが決定いたしました。

本船は、令和5年11月から北九州響灘洋上ウインドファーム建設工事において稼働を開始します。当日は当該 SEP 船の撮影も可能です。

記

- 日時 令和5年10月30日（月） 11：00～12：00
※雨天でも決行します
- 場所 響灘洋上ウインドファーム工事事務所
（北九州市若松区響町二丁目 8-5）

【洋上風力発電施設の建設に必要な不可欠な SEP 船】

SEP 船は、4本の脚（レグ）を海底面に着底させ、作業船本体を海面より高く上昇させた状態で作業をするため、波浪の影響を受けず、海上においても施工精度が高く、安全かつ短期間で風車を設置することができます。

<問い合わせ先>

港湾空港局 エネルギー産業拠点化推進課

担当：（課長）和田、（係長）八田 電話：093-582-2994